

* 竹田市感染症情報(竹田市独自集計) *



令和8年第23週 (6月1日~6月7日)

ヘルパンギーナの報告が3週続いています

今週も1名の報告がありました。大分県全体では定点あたり2.33人で、先週の0.86人から増加しています。

感染性胃腸炎にご注意ください

今週は5名の報告がありました。食事やトイレの後の手洗いをしっかり行い、食材は中心までよく加熱することが大切です。症状がある時は、無理な出勤や登校はせず、水分補給を十分に行いゆっくり休み、脱水や水分摂取が難しい場合は早めに医療機関へ受診しましょう。

麻しん(はしか)について

現在、国内では麻しん(はしか)が例年と比較して多く報告されています。6月8日時点で大分県内での患者発生の届出はありませんが、日本国内の様々な地域や海外での感染例があり、地域を超えた感染の広がりに注意は必要です。

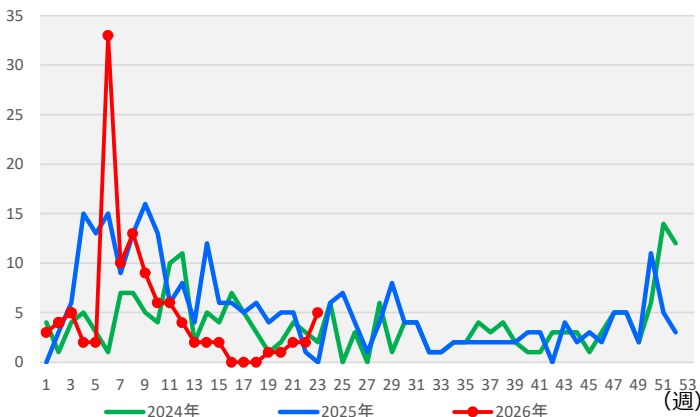
麻しんは、感染力が極めて強く、空気感染、飛沫感染、接触感染などで広がっていきます。発症や重症化を防ぐためには、2回のワクチン接種が重要です。定期接種の対象者は第1期:1歳の1年間、第2期:5歳以上7歳未満で、小学校入学前の1年間です。

また、令和6年度中に麻しん風しん混合(MR)ワクチンの供給不足で、定期予防接種ができなかった方への定期接種が実施されています。対象者は、令和4年4月2日から令和5年4月1日生まれの方(令和6年度に第1期の対象だった方)と、平成30年4月2日から平成31年4月1日までの間に生まれた方(令和6年度に第2期の対象だった方)となります。接種期間は令和9年3月31日までとなりますので、詳しくはお住まいの自治体へご確認ください。

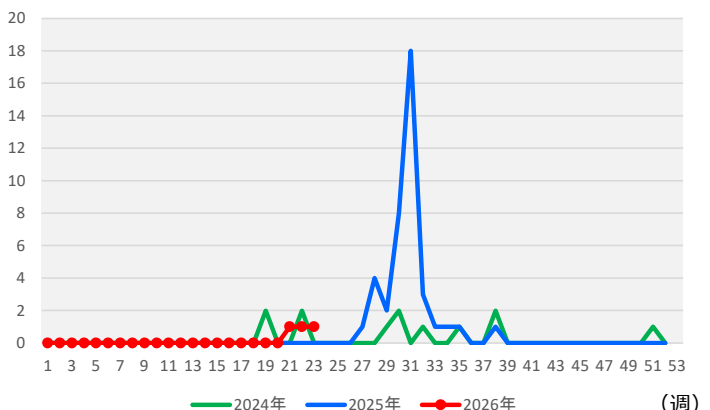
(第23週) (調査医療機関8か所の総患者数)

疾患名 年齢	インフルエンザ			新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結核熱(プール熱)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘(みずぼうそう)	手足口病	伝染性紅斑(リンゴ病)	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	マイコプラズマ肺炎	麻しん(全数報告)	風しん(全数報告)	百日咳(全数報告)	つつが虫病(全数報告)
	A型	B型	不明																
0歳																			
1~3歳													1						
4~6歳																			
7~9歳																			
10~14歳																			
15~19歳																			
20歳以上								5											
今週								5					1						
70歳以上(再掲)																			
先週							1	1	2	1			1						

(人) 感染性胃腸炎竹田市8医療機関総数



(人) ヘルパンギーナ竹田市8医療機関総数



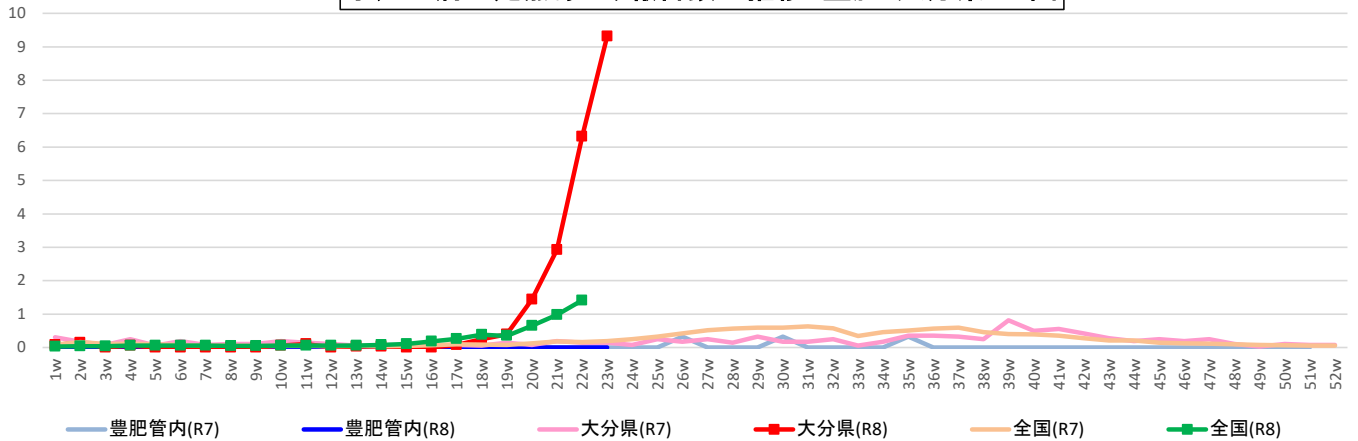
大分県全体で、初夏～夏に流行する感染症の報告数が増加しています。

手足口病については、「流行発生警報」が発令中です。

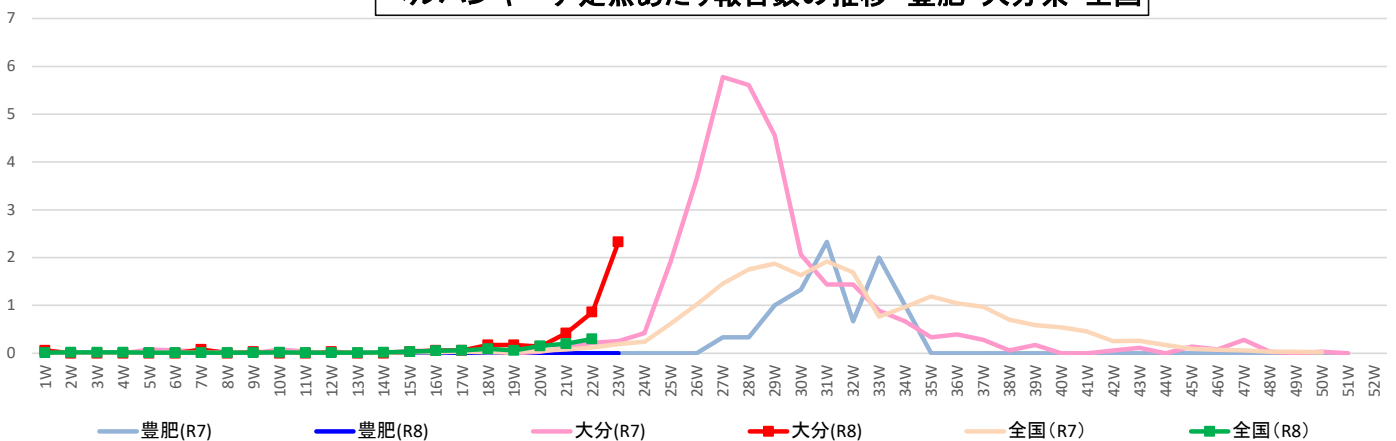
手洗い、うがい、換気など、基本の感染対策を行いましょう。

- ・手足口病 定点あたり6.31→9.31人
- ・ヘルパンギーナ 定点あたり0.86→2.33人

手足口病の定点あたり報告数の推移 豊肥・大分県・全国



ヘルパンギーナ定点あたり報告数の推移 豊肥・大分県・全国



< 4つのお願い >

1. 「基本的な感染対策」で感染予防！

室内の換気、手洗いの励行、咳エチケット、
場面に応じたマスク着用など

2. 「ワクチン接種」で重症化予防！

高齢者や基礎疾患のある方は、特に接種をおすすめします

3. 「体調おかしいな？」は休んで感染の拡大防止！

少しでも体調に異変を感じたら、ちゅうちょせず休みましょう
コロナは5日間、外出を控え療養を

4. 検査キット、解熱剤等の常備薬を準備！

体調不良時の自宅検査・療養に備え、早めに準備しておきましょう

